

山形県立山形養護学校 高等部 職業・家庭

畑 作物を育てよう・収穫しよう



日時：令和7年6月～10月 月・水・金の2時間目

場所：作業室・学校園・教室

対象：高等部重複障がい学級 9名

授業者：佐藤美咲 教諭 渡邊千恵 教諭

深瀬真智 教諭 他

1 主に活用した機器・コンテンツ

・一人一台タブレット (iPad) ・大型液晶モニター ・Apple TV ・Google meet ・Google classroom

2 授業

(1) 単元の目標

- 作物の特性や扱い方に関わる基礎的な技術について理解することができる。
- 作業上の安全や効率を考えて工夫することができる。
- みんなと一緒に活動しようとする。

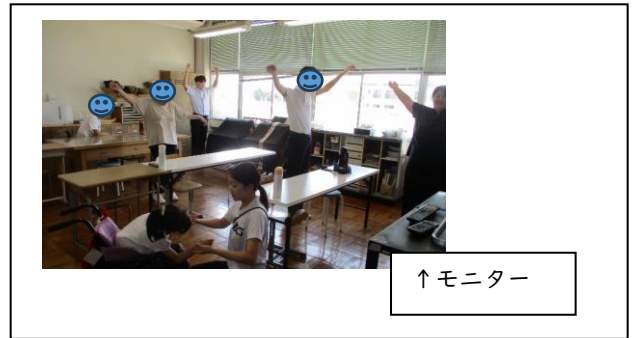
(2) 指導過程

時間※1	●主な学習活動	○ICT 活用ポイント、留意点	使用機器 コンテンツ	情報活用能力※2
導入 10分 A1	<ul style="list-style-type: none"> ●あいさつをする。 ●ラジオ体操をする。 ●学習内容を知り、目標を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒たちが見やすい位置にモニターを設置する。 ・通信状況を確認する。 ・画面が見やすいようにブラインドで室内の明るさを調整する。 <p>○ICT 活用ポイント1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・液晶モニターに映し出された動画を見て、準備体操をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一台タブレット ・液晶モニター ・Apple TV 	C1②a 情報や情報技術を適切に使おうとする
展開 30分 B2	<ul style="list-style-type: none"> ●畑へ移動する。 ●成長記録を撮る。 ●雑草を取ったり、水やりをしたり、収穫したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に畑に行くか、遠隔での参加をするか、生徒と相談をする。 ・教師や友達とやり取りしながら、観察ができるようにする。 <p>○ICT 活用ポイント2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タブレットの画面を見て、畑の状態や作物の成長の状況、友達の学習の様子を見る、スクリーンショットを撮る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一台タブレット ・カメラアプリ ・Google meet ・Google フォト ・Google classroom 	A1①a コンピュータの起動や終了、写真撮影などの基本操作
まとめ 10分 B1	<ul style="list-style-type: none"> ●作業室に戻る。 ●振り返りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・撮ってきた画像の中から、必要な画像を選び、振り返りをしていく。 <p>○ICT 活用ポイント3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・畑の様子や作物の成長の状況を画像で見ながら、振り返りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一台タブレット ・カメラアプリ ・Google フォト 	C1①a 事象と関係する情報を見つけようとする

3 ICT 活用ポイント

ICT 活用ポイント1 A1 教員による教材の提示

学習の始めに準備運動を行うときに使う液晶モニターを生徒が準備している。1台の液晶モニターをみんなで見ながら準備体操をすることで、一緒に取り組もうとする一体感が出てくる。音と映像、教師が前に立って動きを提示することで、個々で手本にしやすいものを選ぶことができる。



ICT 活用ポイント2 B2 調査活動

心身の調子により、校舎2階から体育館脇やグラウンド脇の畑までの移動が難しい時に、Google meet を使うことで、画面を通して、畑の状態や作物の成長の状況、友達への学習の様子を見ることができる。スクリーンショットを撮ることで成長記録を自分で撮ることができる。



ICT 活用ポイント3 B1 個に応じた学習

自分の視線で撮影した畑の様子や作物の成長の状況を画像で見ることによって、自分が取り組んだことや見てきたものを思い出しやすくなる。書字障がいのある生徒においては、文字入力を使用して記録を残すことができる。教室に戻ってから、作物の様子や作業の仕方などを自分で検索することもできる。



4 活用の成果

- ・大きな画面をみんなで見ることで学習への一体感ができた。毎回同じ動画を使うことで、同じように身体を動かすことができるようになった。
- ・移動が難しい生徒がリモートで学習参加できるようになった。他の教科でも同じように取り組むことが広がっている。生徒によっては、リモート後に集団での参加を嫌がる様子も見られるようになり、活用の仕方は個々で確認が必要であることもわかった。
- ・「(作物が)大きくなっていった。」といった簡単な振り返りだけしか出てこなかった生徒にとって、「前に見た時よりも〇〇くらい大きくなっていった。」「葉っぱの枚数が増えていた。」など、画面を見ながらであれば具体的に畑の様子や活動の様子を話すことができるようになった。